

ワークショップの記録

●意見交換の記録

1 班
意見のまとめ
A 交通体系分野
■タクシーが拾えない <ul style="list-style-type: none">・道路を流しているタクシー台数自体が少ないように感じる。多くはアプリを使って予約しているので、かつてのような使い方ができなくなっている。・新青梅街道でも拾えず、旧早稲田通りの南方面では拾えない。かろうじて北方面で拾える。・タクシープールが駅にないため、タクシーを拾うことができない。かつては駅の南口旧早稲田通りの場所で待っていたら、拾えたのが現在は拾えなくなっている。・高齢者はタクシーを拾えず困っているという声を地域包括支援センターでよく聞く。
■歩行者に安全な道路づくり <ul style="list-style-type: none">・旧早稲田通りの電柱の地中化を進めてほしい。道路が狭く、歩きにくい。・電柱は歩行空間を遮っており、景観面でも良くないが、電柱があることによって、自動車がスピードを出しにくくなるメリットもある。・道路幅員が広がると、歩行空間を確保できる反面、自動車も走りやすくなって、地域外からの交通が増えたり、走行スピードが上がってしまうのが心配だ。・旧早稲田通りの駅南側は、歩道はあるが、狭くて歩きにくい。傘を差して歩くこともできず、車いすの場合、車道に出ないと通行できず危険に感じる。・旧早稲田通りの駅南側を子供連れで歩くときは、子供の手をぎゅっと握っていないと怖い。
■バスの便が良い <ul style="list-style-type: none">・阿佐谷駅行きや荻窪駅行き、石神井公園駅行きのバスが頻繁にでているので、高齢者もバスで毎日の買い物をしていて便利だ。・バス便が良いぶん、地元のお店が充実していなくても良くなっているのかもしれない。
■駅前広場 <ul style="list-style-type: none">・駅前に広場があると良い。ただし、タクシープールや車両のためのスペースではなく、人が集まったり、お祭りやイベントなどができたり、オープンスペースとして活用できる場がほしい。
■道路と鉄道の連続立体交差化 <ul style="list-style-type: none">・鉄道は高架化されるのか？高架化されることで、駅前に土地建物を所有している

人は日影になったりと影響を受けるほか、まちの賑わいが減ってしまうことが心配だ。

B 土地・建物利用分野（商店・にぎわい）

■こだわりの店・若者向けの店がない

- ・周辺の駅周辺に比べて、おしゃれなお店やおいしいお店が少ない。若い者同士が集まることができるような共有スペースがあったり、三軒茶屋にあるようなお店があると良い。
- ・若者向けのカフェやレストラン、ファッションの店がほしい。
- ・駅南側は、お店が変わらず、活性化していない。生活感を感じられたり、チェーン店ではなくオリジナリティのあるお店があると良い。
- ・駅北側は活性化してほしい。大きな地主さんが所有していることもあるので、そうした影響で変化が乏しいのかと感じている。

■人がまちで過ごすことができるように

- ・本屋がないので、外で時間を過ごすことができない。(かつては2軒あったが閉店した)
- ・2軒目などはしごして食べ歩く風景がない。まちで食べ歩くようなものは中央線沿いに取られてしまっている。結局2軒目を探そうとしても、見つからず酔いも覚めて、皆帰宅してしまう。
- ・かつて商店会で、はしご酒のイベントなども行ったが、現在は行っていない。チェーン店に代わってしまうと、商店会にも加入しなくなるので、商店街の団結が希薄になってしまい、力も弱くなっていると感じる。店主も高齢化しているので、みんなでまちを盛り上げにくくなっている。

■お店に偏りがある

- ・美容院やラーメン屋、歯医者はいっぱいある。土地代が安いいため、出店しやすいのか？美容院つながりでイベントができないか？
- ・八百屋はたくさんあるが、肉屋、魚屋がなく、駅前の2軒のスーパーマーケットに行かないと買えないので、結局だんだん個店が衰退していつている。

■ひと休みできる場所

- ・買い物に行きたいが、休める場所がまちなかにないため、高齢者は外出機会が減っている。

C 住環境分野（住環境・みどり）

■みどりが多い？少ない？

- ・個人のお宅のお庭のみどりが豊かで、散歩していて楽しい。
- ・大きな公園がない。児童公園など小規模なものだけで、みどり豊かな公園が少な

い。

- ・かつては花卉農家も複数あり、余ったものを近所の人に分けてもらうなどの交流があったが、現在は少なくなってしまった。ただ現在も駅前などに残っているのは、下井草らしさになっている。
- ・井草川遊歩道は、みどりが豊かで散歩していても楽しい。サクラやモミジ、花木など四季を感じることができる。
- ・井草川遊歩道は、散歩していても楽しい場所なので、道沿いにカフェなどができるともっと良い。
- ・大きなお屋敷はミニ戸建てに変わり、畑はマンションに変わってしまっている。

■オープンスペース

- ・川など水辺空間がないので、空が広く見える場所や広場がない。

■下井草らしい住環境

- ・教会がある。
- ・閑静な住宅街。

D その他（コミュニティ・まちづくりのプロセスなど）

■人とのつながりやお祭り

- ・長く住んでいる人同士の交流が濃い。
- ・地域のお祭りがなくなってしまった。かつてはお祭りもあったが、町会での運営が負担になりやめてしまった。ハレの場がなくなってしまった。
- ・大きな神社がない。
- ・井草八幡のお祭りはあるが、数年に一度。

■新しい人

- ・女性など、新しく住み始めた人も増えているように感じる。

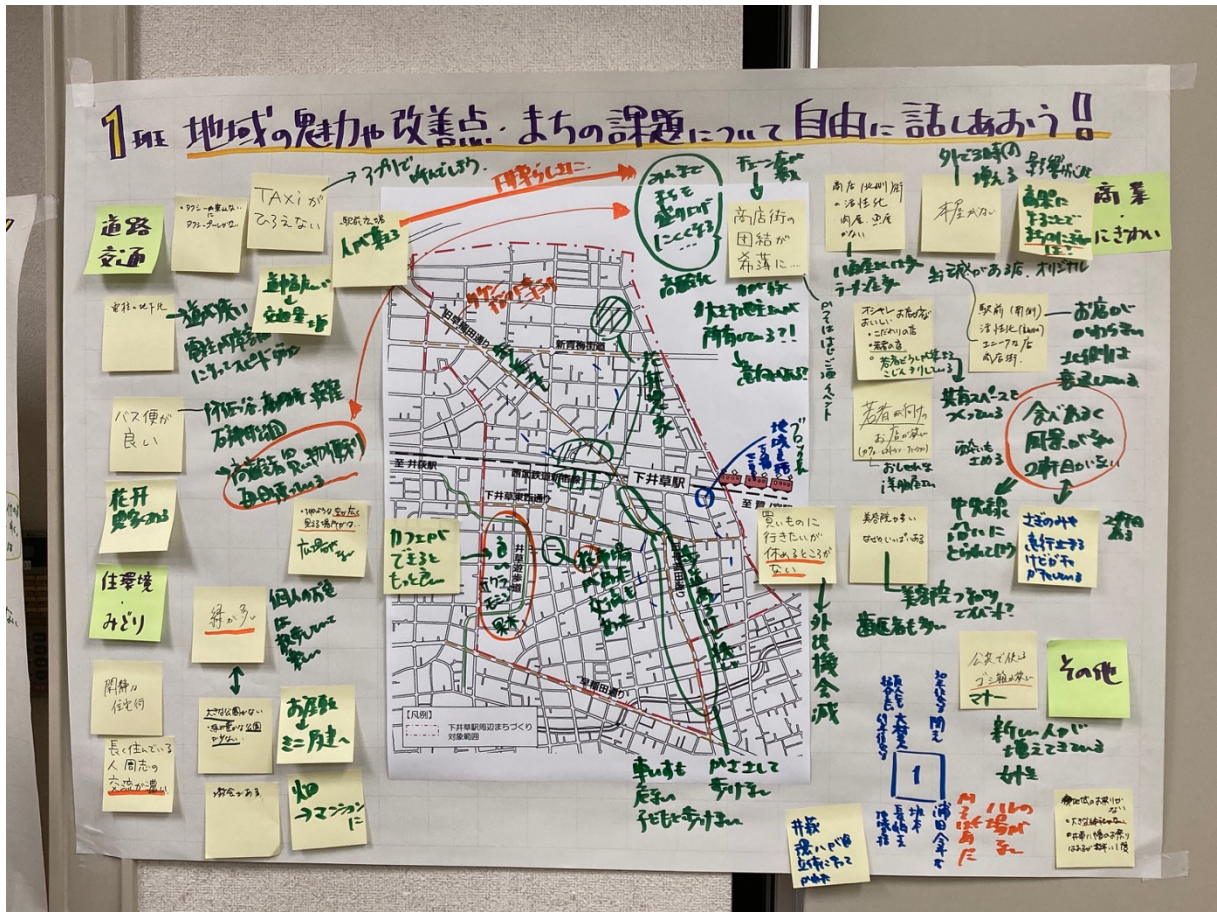
■ゴミ

- ・まちで過ごすのに、公共で使えるゴミ箱がほしい。
- ・自宅付近は、駅のコンビニなどで買ったものがちょうど食べたり飲み終わる距離にあるようで、たくさんゴミを置かれてしまう。マナーが悪い。

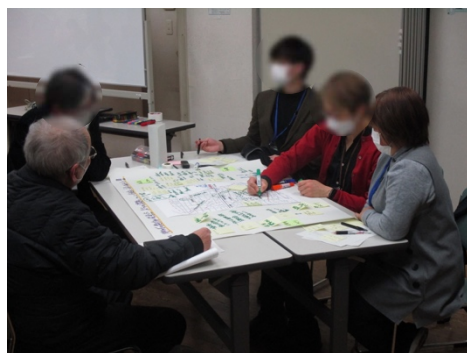
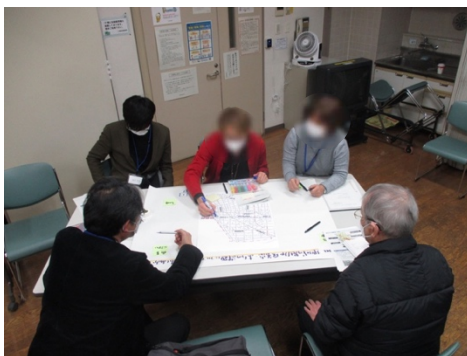
ファシリテーターの感想

- ・年齢のバラエティや居住年数、まちへのかかわり方も様々で、多様な意見交換ができたように見受けた。
- ・どの方も要望や要求を述べるだけでなく、下井草に自分たちも関わりながら、良くしていきたいという意欲を感じる意見ばかりだった。
- ・駅周辺をもっと楽しめる空間にしたいという点は、皆さん共通していたので、何か小さな事でも具体化できると良いなと感じた。

■ 記録写真



■ 模造紙に整理した参加者の意見



■ 検討風景



■ 発表の様子

2 班
意見のまとめ
A 交通体系分野
<p>■旧早稲田通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧早稲田通りの歩道が狭く危険なので、電線地中化して欲しい。 ・旧早稲田通りの歩道が狭く電柱が邪魔。傘をさして通過できない。 ・旧早稲田通りが狭く危ない。電線地中化して欲しい。 ・電線地中化については都道なので区では対処できないか？都に要請して欲しい。 <p>■駅前空間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前が混雑しておりロータリー化も検討して欲しい。 ・駅前の交通環境が悪い。バスや買い物客などで混雑する。 ・中野駅まで行くバスを八成小までではなく下井草駅までにしてほしい。しかし、駅前にロータリーがないと難しい。 ・駅前のロータリー化はいいと思うが、歩行者が締め出されないように。 <p>■開かずの踏切が困る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者は駅を通り抜けて南北の行き来ができるようになったが、開かずの踏切は困る。 <p>■特に不満はない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通網が出来ている。 ・道路について特に不満無し。
B 土地・建物利用分野（商店・にぎわい）
<p>■商店が少なく、特に駅北側ににぎわいが無い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街、特に駅北側がシャッター街になっている。 ・店が少ない、長続きしない。 ・旧早稲田通がとても歩きにくく危険なので、他の道を歩く。それも沿道の商店に立ち寄りなくなる一因では。 <p>■魅力的なお店が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店は数が増えたが、魅力的なお店が無いから長続きしない。
C 住環境分野（住環境・みどり）
<p>■みどりが多く静かで子育てにはとてもよい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静かでみどりが多い。 ・みどりが比較的多い。

- ・みどりの多いまち。
- ・子育てには良い環境だが、子育てが終わったらあまり楽しくないかも？

■何十年も前に区画整理が終わっている

- ・区画整理が終わっている。
- ・区画された町（道路幅 5.4m）。
- ・区画整備がなされている。

■公園が多い？少ない？充実した公園が結構ある。

- ・公園が多い。
- ・公園が少ない。
- ・八成公園は大きくて遊具も新しい。ボール遊びもできる。
- ・井草さくら公園ではちびっこ夏祭りなどやっている。金魚すくいやヨーヨーも。
- ・上ノ台公園は遊具が充実している。
- ・下井草どかん公園には土管が置いてありそこで遊べる。

■井草川遊歩道があり、かつてはビオトープもあった

- ・井草川遊歩道は「科学と自然の散歩道」という名称があり、小柴先生がノーベル賞を受賞した時に整備された。
- ・井草川遊歩道の近くにかつてはビオトープがあったが、保育園を作る時の整備で無くなってしまったのが残念。

D その他（コミュニティ・まちづくりのプロセスなど）

■人情味あふれる人が多い

- ・近所の人親切。
- ・お神輿の担ぎ手も北と南で力を合わせている。

■サラリーマンには地域との関わりはなかなか実感できない

- ・サラリーマンには地域との関わりはなかなか実感できない。
- ・町会など色々なちょっとしたイベントに参加してみてもどうか？

■公立の美術館が無い

- ・世田谷区などにはあるが、杉並区には公的美術館が無い。

ファシリテーターの感想

- ・皆さんこの地域にそれなりに長く住んでいる方々だったが、まち協会長以外の方は地域活動にも参加したことが無く、他の地域で働くサラリーマン（元サラリーマン）ということもあり、まちのことについて地元の方々と意見を交わし合うことを面白い機会と捉えているようだった。帰り際、また機会があったら参加したいとおっしゃっている方もいた。

- ・みどりが多く静かで子育てには良い環境というのは皆さん一致していましたが、印象的だったのは、子育ても終わり気づくともあまり楽しめるものがないというご意見だった。特に、魅力的なお店があまり無いというご意見の方が多くあった。
- ・交通面に関しては、旧早稲田通りが安全性に欠けるというのは一致したご意見だったが、連立事業の方向性に関しては、特に主張のある方はいなかった。

■ 記録写真



■ 模造紙に整理した参加者の意見



■ 検討風景



■ 発表の様子

3班
意見のまとめ
A 交通体系分野
<p>■旧早稲田通りの歩道は狭くて歩けない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧早稲田通りの歩道は狭い上に、地面が盛り上がっていて歩きづらいので、駅の南側を歩く時は歩道を歩かず1本中に入った道を歩いている。そちらの方が車もあまり通らないし広いので歩きやすい。 ・歩道内に電柱もあり、傘をさしていると通れないので車道に出るしかなく危険。 ・人同士がすれ違うのも難しい。先日も人と車の接触事故があった。 ・踏切では車と人が交錯して危険。 <p>■バスの通り道が狭くて危険</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前バスターミナルの通りやそこまでのバスの通り道が狭い。 ・バスと人が接触する事故も頻繁に起きているので対策が必要だと思う。 ・バス停の部分も狭くて降りづらいので、降りやすくしてほしい。 ・幹線道路の整備が必要だと思う。 <p>■井草川遊歩道の連続性を保って歩いて楽しむために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜の美しい井草川遊歩道があるのにバス通りで分断されるのが残念。信号など関係なくジョギングや散歩ができるよう井草川遊歩道の回遊性を保てる道づくりができるの良いのではないか。 ・妙正寺川から妙正寺公園を通して井草川遊歩道に至るルートを歩行者空間として、歩いて楽しめるまちにできると良いと思う。
B 土地・建物利用分野（商店・にぎわい）
<p>■駅近くに飲食店が増えるともっと生活を楽しめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店が少ないので若い人や学生が住みにくいと言われたことがある。 ・飲食店が長続きしにくいと感じる。 ・もっと食事ができる場所があると楽しめてよい。特に車が使えない人や高齢者にとっては、駅近くにあるとよいと思う。 ・最近できたベーカリーカフェは賑わっているようだ。 <p>■日常の買い物は事足りる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活に必要なものを買うスーパーは数件あるので困らない。ただ、ちょっと凝った食材などは買えるところがない。 ・車が使えない人は環八をつかって戸田のイオンモールまで行ってしまう。そこでばったり近所の人に会ったりする。

■「賑わい」を考えてみる

- ・住民の多くは静かな生活環境やみどりが多い環境を求めているのではないか。賑わいは必要なのだろうか。

C 住環境分野（住環境・みどり）

■区画整理によってできた良好な住環境は地域の財産

- ・清水2丁目まで碁盤の目のようになっている。区画整理をした当時は反対があったが、今では良好な住宅地となり地域の財産だと思う。

■小学校、中学校、高校が近くにあり子育てしやすい

- ・小学校、中学校、高校が近くにあり子育て世帯も住みやすい住環境だと思う。桃井第五小学校は校庭全面芝になっている。子どもも多く1学年3組ある。

D その他（コミュニティ・まちづくりのプロセスなど）

■伝承文化を伝えていきたい

- ・もちつきに支えられた伝承文化がある。中瀬天祖神社の「舌べろ餅」で10月15日午前に餅をつき配っている。餅つき歌もある。
- ・八成小学校では地域のどんど焼きも行っている。
- ・この地域は、「舌べろ餅」やどんど焼など都市部では少なくなった伝承文化もあり、文化レベルも高いと思う。

■伝承文化を知る機会をつくる

- ・地域に住んでいても「舌べろ餅」のことは知らなかった。地域の人が利用する「駅」に伝承文化の情報があると地域の人を知る機会になるのではないか。
- ・今ある伝承文化を知って次世代に繋げていくことは大事だと思う。
- ・知る機会が少ないのはもったいない。

■運営側が今以上の人数に対応できるかが課題

- ・今はあまり広報していない。広報して今まで以上に大勢きてしまうと、運営側が対応しきれないという問題もあるので考えないといけない。

ファシリテーターの感想

- ・年齢、居住年数もさまざまな4名での意見交換だったが、お互いの下井草に対する思いも共有でき、こちらが促さずともみなさんしっかり意見を出してくれた。
- ・みなさん共通して、下井草はみどりが多くて緑道もあり、また交通も便利でスーパーも数軒あり生活するには本当に良い地域という認識だった。
- ・交通に関しては、バス通りの狭さの改善とともに、井草川遊歩道～公園～川沿いの連続性を生かした歩行者優先の歩いて楽しむまちの提案があった。

- ・伝承文化に関しては、「舌べろ餅」の話題で盛り上がった。4名中2名は、長くお住まいでありながらご存知なく、知る機会をつくる必要性とともに、運営側の受け入れ体制が今以上の人数に対応できないという課題も見えてきた。
- ・グループ発表も積極的に手が挙がり、自分ごととして関わられていると感じた。

■ 記録写真



■ 模造紙に整理した参加者の意見



■ 検討風景



■ 発表の様子

4 班
意見のまとめ
A 交通体系分野
<p>■人のための道路になっていない旧早稲田通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧早稲田通りは、歩道が狭いし電柱がジャマになっていたり、傾いていたりと人のための道路になっていない。今日駅付近の旧早稲田通りでケガ人が出て救急車がきたが、道が狭いので通り沿いに止められていなかった。 <p>■駅前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前がとにかく狭くてあるくのが大変。 ・駅付近の道路は狭いけどバスはゆっくり進んでくれている。 <p>■南北の分断・踏切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・踏切と道路が斜めに交差しているので、雨に日は滑りやすい。 ・南側に住んでいると踏切がバリアになって北口にはほぼ行かない。 ・開かずの踏切を小学生が待てずに横切ったりしていて、とても危ない。 ・駅の自由通路はエスカレーターもあり使いやすい。 <p>■碁盤目状のみち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・碁盤目に整理された広い道が景観として良いし分かりやすいので好き。 <p>■道路と連続立体交差化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高架になると暗くなるし、他駅をみていると駐輪場が遠くに配置されて使いづらそう。 ・地上部に人が集まるスペース（広場）が整備されると良い。お祭りのときに神輿が入ったりすることができる。（現在は駅前に入れない） ・今まで連立事業が本当に必要なのかと思っていたが、明るくて広い広場が作れるのであれば、やる意味はある。 ・東京都に連立の地下化について陳情に行ったことがあるが、何をまちづくりとして目指していくのが大事。
B 土地・建物利用分野（商店・にぎわい）
<p>■歩いて楽しいまちづくりへ！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今のまちは、散歩に適していない。歩きやすい道やお店、公園への案内などがあると良い。 ・安心して歩くことができ食べる楽しみもあれば、出歩く機会が増える
C 住環境分野（住環境・みどり）

■住みやすいまち

- ・ 駅周辺に施設がそろっていてコンパクトなところが良い。
- ・ 物価が安い、バスの本数が多い、スーパーが多い、銀行のATMが多い、混み合っていない、医院が多いなど、とにかく住みやすい。
- ・ 近くにある図書館が気軽に行けて楽しい。読む本だけでなく、野菜作り、植木の剪定の本など、すぐに見に行くことができる。

D その他（コミュニティ・まちづくりのプロセスなど）

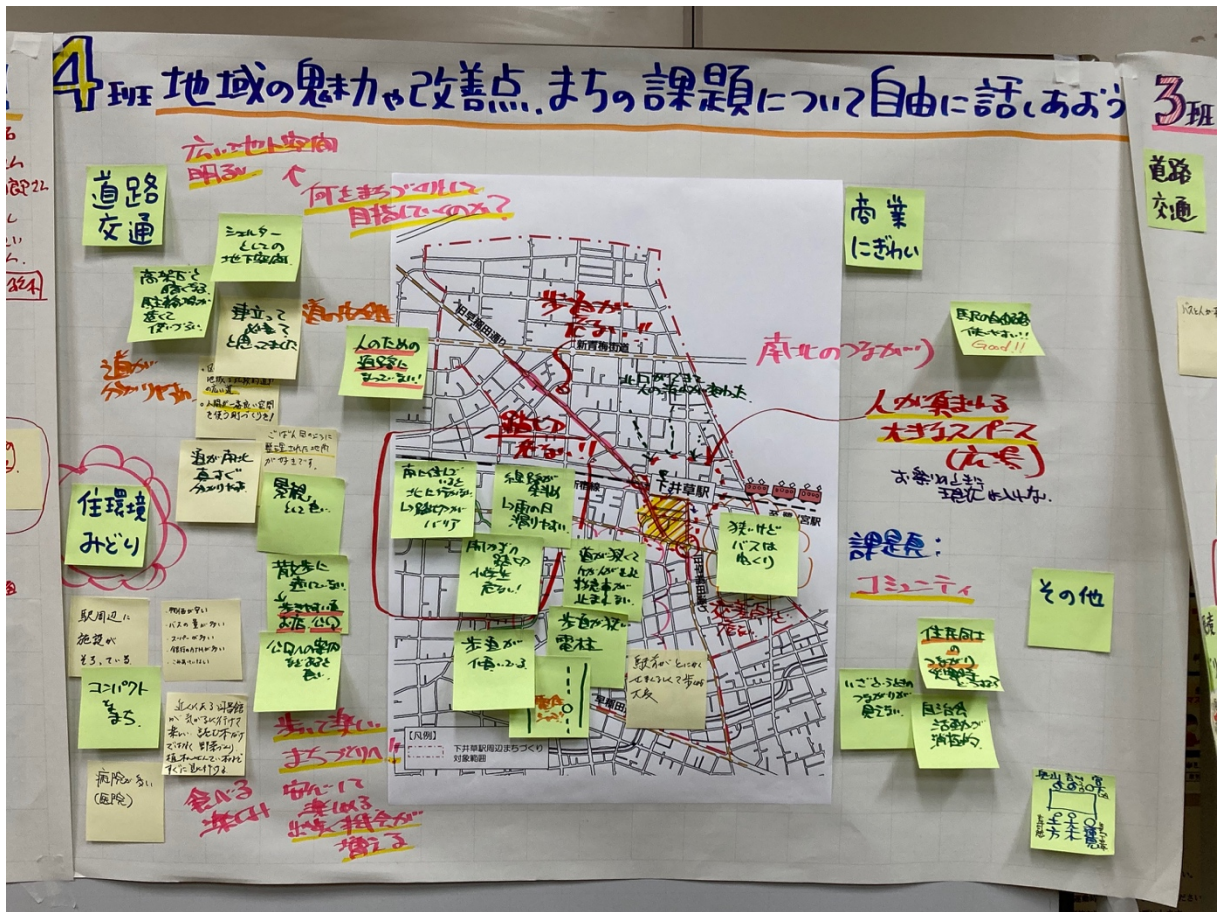
■コミュニティ

- ・ 6年前に引っ越してきたが住民同士のつながりが少なく、災害時にどうなるのか不安。
- ・ 自治会に入った方が良いか自治会に聞きに行ったが、入らなくても良いんじゃないかと言われた。

ファシリテーターの感想

- ・ 長年下井草に住んでいる方、数年前から住んでいる方、去年から住んでいる方など居住歴の違いや年代が違う方々が同じテーブルで自分たちの街について意見を交わすことで新たな発見にも繋がり、お互い刺激を受けていた様子が良かった。
- ・ 行政への要望や批判などは一切なく、参加者の生活満足度は高いのだと思った。
- ・ 連立事業の高架についての是非はこれから議論されていくと思いますが、まちのことを思っている意見でもあったので、高架 VS 地下という構図ではなく、連立事業により何をまちづくりとして目指していくのか、まずはそのビジョンを共有化していくことが重要だと感じた。

■ 記録写真



■ 模造紙に整理した参加者の意見



■ 検討風景



■ 発表の様子

意見のまとめ

A 交通体系分野

■連立により街の分断を解消したい。

- ・街が発展できない。
- ・南北の横断箇所が少ない。
- ・地下化としたい。それにより上部を広場やバス、タクシーベイとして使える。
- ・井荻が平面で東側が高架という話もあるのでその間を地下化するのは難しいのではないか。
- ・(F) 高架の場合北側に環境測道ができる。
- ・北口が出来たのが 18 年前でそれでも大変の進歩だった。

■連立に合わせて都市計画道路 215 号線と駅西の通りを整備し、旧早稲田通りの危険性を排除し、駅周辺と旧早稲田通りを歩行者優先の空間にしたい。

- ・旧早稲田通りは微妙な曲率が死角をつくっている。
- ・旧早稲田通りは歩道がほとんどない。あっても狭い、段差が大きい。車椅子は車道を通る他ない。
- ・旧早稲田通りはバス停でバスが止まると渋滞になる。
- ・旧早稲田通りと新青梅通りの交差点部にめんどくさい交差点がある。
- ・そこにかかっている横断歩道橋は撤去予定だ。
- ・旧早稲田通りは通学時間帯は通行規制がかかっているが、無視されている。規制すると渋滞が酷くなる。
- ・都市計画道路 215 号線は南側に狭い箇所がある。買収は難しいのではないか？

B 土地・建物利用分野（商店・にぎわい）

■店舗が少なくなっているが、スーパー等があり特別困らない。

- ・最盛期に比べて店舗が 3 分の 1 になった。でも、きっとニーズがないのだろう。
- ・北口も南口も商店街は元気がない。
- ・西荻や荻窪に食事や買い物に行くので問題ない。
- ・個人店がなくなってきている。
- ・南北に風呂屋が 2 軒あったのが無くなり、あわせてその隣にあった床屋、飲み屋も無くなった。
- ・珈琲店、本屋、文房具店が欲しい。
- ・西武線の南側街路で飲み屋さん祭りをやっていたが、広げたらいいのではないか。
- ・大地主の土地が駅周辺にあるため開発が難しい。一方、大きなみどりが守られている。

C 住環境分野（住環境・みどり）

■ 下井草は下井草として小ちやく、そこそこに住みたい。

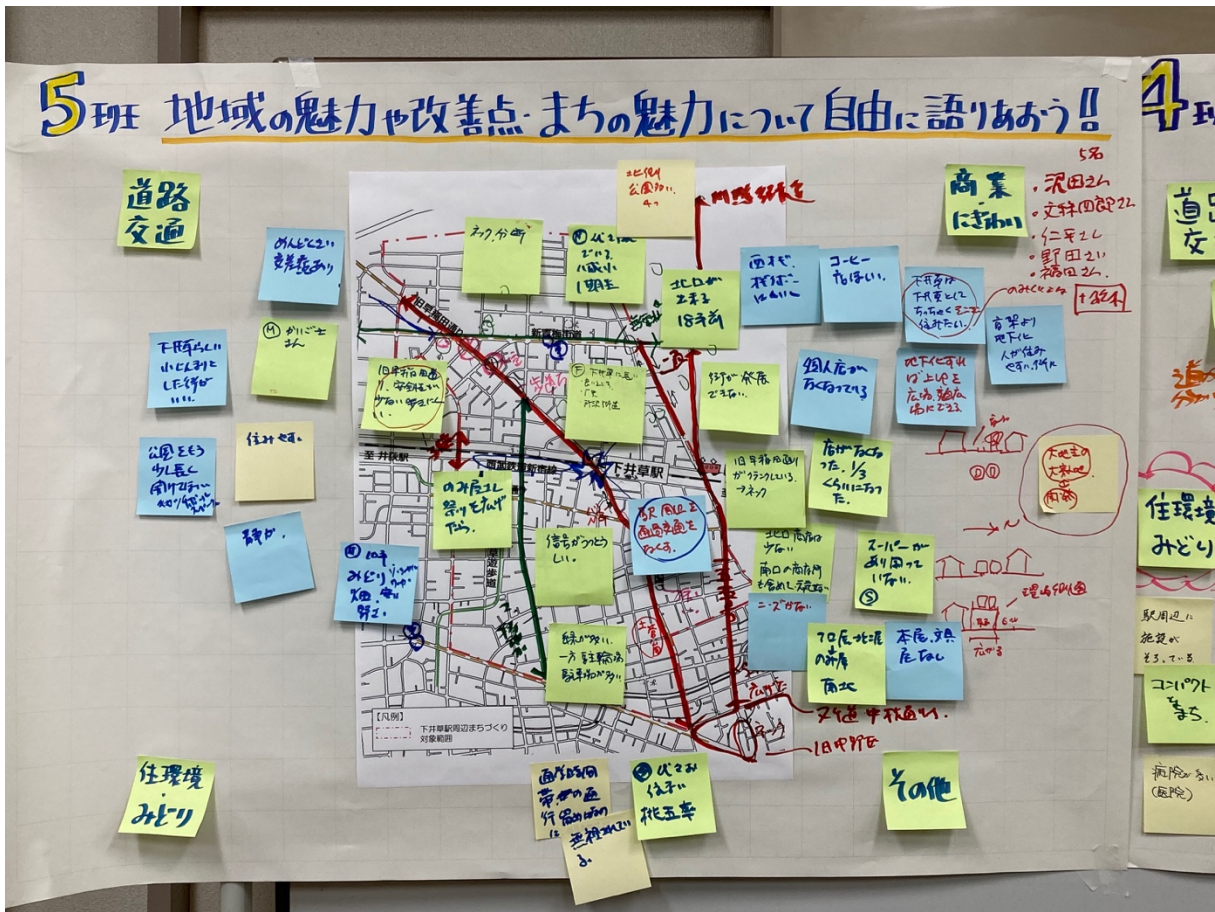
- ・ 住宅地として住みやすいので、開発等や大きな建物ができなくとも良い。人が外から来なくとも静かに暮らせていていい。
- ・ 環境や駅の利便性が高いので人口が増えているようだ。
- ・ 公園が多くて子供たちも多様に使えて良い。
- ・ 公園が夜間閉鎖されるのももう少し遅くまで解放してほしい。
- ・ みどりが多く、一方駐輪場や駐車場も多い。
- ・ 畑が多く、野菜が安く売られている。
- ・ 静か。

D その他（コミュニティ・まちづくりのプロセスなど）

ファシリテーターの感想

- ・ 参加者の皆さんはその家族を含めてこのまちを愛している。
- ・ 快適に暮らしているので特別大きな変化は望まないが、連立を契機に駅周辺及び旧早稲田街道の歩行者優先空間を作るのはまちの将来を考えていい方向だと思う。

■ 記録写真



■ 模造紙に整理した参加者の意見



■ 検討風景



■ 発表の様子

意見のまとめ

A 交通体系分野

■旧早稲田通りの歩道が狭く危険

- ・バスが通る道なのに、狭い道が多い。
- ・歩道が悪い。
- ・車通りが多いが、歩道が狭く歩きにくい。
- ・交通量が多い、歩道がない。
- ・裏通りを歩いている人がいる。
- ・本当は駅北側のバス停で降りたいが、子どもと一緒に危険なので、遠回りになるが駅南側で降りている。
- ・「银杏稲荷」バス停で待つ人が行列になると、歩道を歩く人が車道に降りて歩いている状態。それくらい歩道が狭い。

■駅周辺も危険

- ・踏切が降りると車が渋滞してしまう。踏切が上がっている時は車が結構なスピードを出す。
- ・駅の南側に行くためには線路を渡らなければいけない。駅周辺の線路は車も人も多くて危険。

■旧早稲田通りでイベント実施

- ・下井草商店街でハロウィン&ウォークイベントを開催。1000人の親子が参加しにぎわったが、警備員20人を配置して安全確保をした。

■早稲田通りも危険

- ・自転車で走りにくい。
- ・歩道が狭く、車いすの通過はムリ。

■こうなったらいいなのアイデア

- ・旧早稲田通りを一方通行にする。
- ・旧早稲田通りのバスルートを別にする。
- ・旧早稲田通りの電線の地中化。
- ・パーク&ライドで、通過交通を駅周辺に入れない。

B 土地・建物利用分野（商店・にぎわい）

■こじんまりした地元感がある

- ・駅間が短く、散歩しているとすぐに次の駅の商店街に行ける。
- ・チェーン店が少なく、おいしい地元感あふれるお店がある（ラーメン、韓国料理

など)

■にぎわいがない

- ・個人店がない。
- ・カフェがない。

■こうなったらいいなのアイデア

- ・歩く人が中心の、にぎわいをつくりたい。
- ・ホコ天やフリマを行う。
- ・にぎわいをつくるには、鉄道を地下化して地上に場所をつくる。
- ・人を増やすには、駅にタワマンをつくる。

C 住環境分野（住環境・みどり）

■みどりが多く散歩道もあり、坂がなく静かな住環境

- ・井草川遊歩道があり、散歩しやすい。
- ・井草川遊歩道にある桜がきれい。
- ・サクラの名所がたくさんある。
- ・みどりが多い、畑がある。
- ・坂道がなく、散歩しやすい街。
- ・住宅街が静か。

■子育てしやすい環境

- ・公園や子育て施設が多く、子育てしやすい環境。

■川の対策

- ・駅南側の旧早稲田通りは下り坂の地形で、妙正寺川近くに住んでいるが、大雨が降るとちょっと怖い。

■こうなったらいいなのアイデア

- ・散歩道をもっと増やしてほしい。
- ・散歩道の行き先が、公園などと繋がっていると良い。
- ・公園に小さなビオトープをつくり、みんなで管理したり触れ合えたりなど、みんなで関わりたい。
- ・親子でシートを広げてピクニックができるような場所がほしい。
- ・ワンちゃんの遊べる広場やドックラン。

D その他（コミュニティ・まちづくりのプロセスなど）

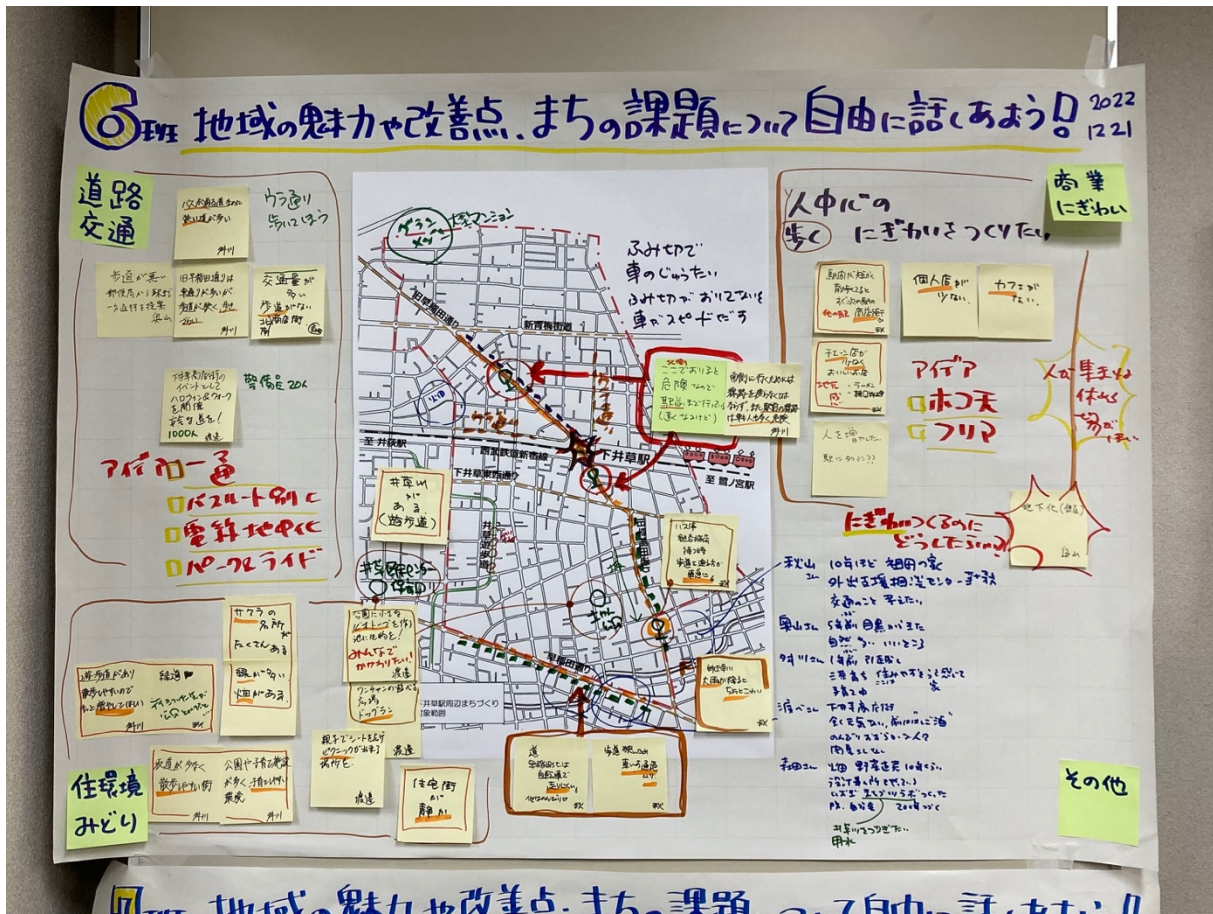
■人が集まれる場づくり

- ・人が集まれる、ちょっと休める場がほしい。

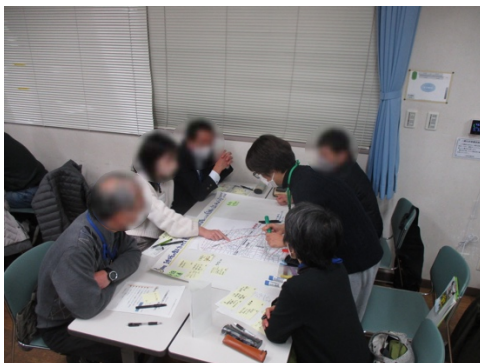
ファシリテーターの感想

- ・良い環境があり、高齢者も子連れの人も多世代が散歩を楽しめる場所にしたいという意見が多かった。散歩を楽しむという中には、旧早稲田通りで買い物を楽しんだり、農家さんの玄関前で販売されている採れたて野菜を購入したり、ビオトープを観察したり手入れしたりなど、この地域の愛着を深める多様な要素が含まれる。また、ちょっと一息つける場所をつくることで、顔見知りが増える機能をもつ場所も望まれる。
- ・散歩というキーワードに共感する人が多く、人間の身長や歩くスピードに適した「こじんまりとした賑わい」をイメージした人が多いように思った。

■ 記録写真



■ 模造紙に整理した参加者の意見



■ 検討風景



■ 発表の様子

7 班
意見のまとめ
A 交通体系分野
<p>■歩道がなく歩くのが危険な道がある～旧早稲田通り、下井草東西通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車通りが狭い～旧早稲田・下井草東西通り。 ・ベビーカーで歩きづらい。 ・歩車道の段差も危険。 ・旧早稲田通りと新青梅街道が交差するあたりは、小学校、保育園、学童もあり子供が多いエリアなので特に車が心配である。 <p>■踏切が開かないことが問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・踏切が開かないことが問題。 <p>■一方通行の道が多い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方通行の道が多い。 <p>■西武線の立体化とあるが、高架か地下かを決めて考えたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西武線の高架？地下化？決まらないとこれからのことが考えられないのでは？ <p>■西武新宿線沿線に元気がないのでは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西武新宿線が都心の地下鉄に乗り入れるなどがないため、沿線に元気がないという話も聞く。
B 土地・建物利用分野（商店・にぎわい）
<p>■駅周辺に広場ができると盆踊りとか祭りなどが復活できるのでは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下井草の駅でやっていたぐらいのお祭りが出来てほしい。 ・駅のお祭りは、レンタカー屋さんのところでかつてやっていたが、レンタカー屋ができたことでスペースがなくなりお祭りもなくなってしまった。 ・現在商店街ではお祭りの代わりにスタンプラリーを開催している。 ・お神輿があることが伝わってない（10月井草八幡宮の大きなお祭りが伝わってない？PR不足か?!） ・南口から2本南側の路地は歩行者天国にしている。車を止めてイベントをやるということも、広場ができる前の段階でも考えられるかもしれない。 <p>■北口側にもにぎわいをつくりたい～井草タタミロード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧早稲田通り商店街ではシャッターが下りている店も増えて80軒あった店も50軒に減少してしまった。 ・南口側は比較的賑わいがある。北口にもにぎわいがあると良いのと思う。 ・商店街では電柱の地中化にともない、「井草タタミロード」と称して、地名である畳の材料である「井草」を活かした道を作っていきたいというアイデアがある。

- ・井草さんという人が昔いたこと、イグサが採れていた。今は2軒あった畳屋さんがなくなってしまった。

■飲食店が減少している

- ・お昼食べるところが少ない。飲食店も減っている。

C 住環境分野（住環境・みどり）

■低層の住宅街のゆったりした街並みが良い

- ・低層の住宅地 ゆったりしている。

■地域全体に桜を植えていきたい

- ・今は南口に植えた桜あるが、昔は線路沿いに桜並木があったがなくなってしまった。まちづくりを進める上で、地域で桜を植えて楽しめるまちにしたい。

■緑道・河川沿いは良い

- ・緑道沿いはみどりもあって環境が良く、安心して歩くことができる。
- ・河川沿いは車が通らないので、歩きやすく、ジョギングのコースにもしている。

D その他（コミュニティ・まちづくりのプロセスなど）

ファシリテーターの感想

- ・線路沿いに長く住まわれている方は、後から鉄道が通り、自分の土地の境界について問題が起こったり、日々騒音の問題などの影響を長く受け続けているということ語っていた。線路沿いに住んでいないと実感できない意見である。また、鉄道が通る前からの街を愛しているが故に、立体化についての意見にもつながっているのだと思われ、これからのまちづくりを良くしていきたいという思いはしっかり聞いて、まちづくりに活かしていくことが大事だと思った。
- ・新しく住んでいる方では、下井草の環境が気に入って、社宅を出てからも近くに住むようになったそうで、リモートワークになり一層地域に関わりを求めるようになったということで、積極的にまちづくりに関わっていく可能性を感じた。
- ・商店街ではいろいろな取り組みをしていて、参加者も関心を示しているが、商店街自体の道路が狭く危険であるため、なかなかぎわいづくりの取り組みが難しい様子である。将来的には駅に広場ができることで、お祭りやイベントができるかもしれないが、駐車場や道路占用などで実験的に賑わいづくりを進めていくようなまちづくりも必要かもしれないと感じた。

全体のとりまとめ

■交通について

- ・住宅地の中は、静かで整然とした街並みで、道もそこそこ広くて歩きやすく、子育てもしやすい。
- ・しかし、斜めに縦断している旧早稲田通りがとても危険。住んでいない方々による通過交通が多く、地元住民はほとんど歩かない。
- ・まちを活用するまちづくりとして路線の名称付け（例：井草豊通りなど）、「歩行者天国」にする時間帯や一方通行等、アイデアを踏まえながら今後検討を進める。

■商業／にぎわいについて

- ・下井草駅周辺に「賑わいは本当に必要なのか？」
- ・どのようなことを賑わいと言うのか、下井草駅周辺の賑わいを考えていく必要がある。
- ・もう少しいろいろな人たちが来てほしいという希望を叶えるための工夫
 - 若者向けのこだわりの店の出店
 - お年寄りが街に出やすくするために街の要所要所にひと休みする場所の創出
 - 歩きやすいまち
 - みんなが集うためのカフェがあると良い
 - 身近な場所に集いの広場があると良い
- ・部屋から出て街で過ごす時間をいかに楽しくするか、ということが商店街の活性化にも響いてくる視点になりそう。
- ・お祭りなど、四季の変化を感じながらみんなと一緒に何かをする、というようににぎわいが地域コミュニティとして求められている。

■住宅地について

- ・非常に過ごしやすいと考えている人が多いが、散歩したくなるほど魅力的かというところでもない、という感触を感じている人もいる。
- ・ビオトープもなくなってしまった。地域の豊かなみどりを私たちのみどりとして守り育てていきたい。

■その他

- ・歩いて楽しい、人々がふれあうことのできる、コミュニティを育む地域になると良い。
- ・外へ出る機会があまりないということは、人とふれあうチャンスも限られるということにつながる。

■今後の検討の視点

- ・《ちっちゃくそこそこ住みたいという街》というのは、どんな街かを考えたい。
- ・今後のまちづくりを考える上で多くの視点から考えものを見る